

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 520 号	氏名	植木 郁子
学位審査委員	主 査	川上 純	
	副 査	吉浦孝一郎	
	副 査	中尾一彦	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究の目的は、バセドウ病マウスモデルにおける、抗 CD20 モノクローナル抗体を用いた B 細胞標的治療の可能性を解析することであり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 甲状腺刺激ホルモン受容体 (TSHR) A サブユニットを発現するアデノウイルス (Ad-TSHR289) を 2 回ないし 3 回筋肉内に免疫し、バセドウ病を誘導するマウスバセドウ病モデルを用いている。その経過中で、i) 免疫開始前 ii) 2 回目免疫前および iii) バセドウ病発症後の異なる時期に抗 CD20 モノクローナル抗体を投与し、バセドウ病の発症および脾細胞の TSHR289 蛋白に対する反応性をインターフェロンγ産生で解析し、研究手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、抗 CD20 モノクローナル抗体はバセドウ病発症後の治療的効果はなかったが、発症の予防効果は明らかであった。また、バセドウ病において B 細胞は抗体産生のみではなく、抗原呈示/免疫調節に重要な細胞であることが示唆された。今後の B 細胞を標的としたバセドウ病の治療および病態解析に対する研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は B 細胞を標的としたバセドウ病の治療および病態解析に関する研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			